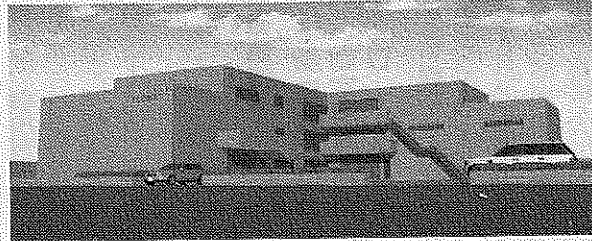


東新プラ、本社新設・拡張

産機向け 樹脂成形品 品質向上へ機能集約



【立川】東新プラスチック(東京都八王子市、高橋誠社長、042・624・3268)は、本社・工場を八王子市石川町に移転・拡張する。産業機器向けなど樹脂成形部品メーカーの品質向上の要求にこたえるのが狙い。建物(完成予想図)は3階建てで、7月に完工する予定。土地代を含めた総投資額は約4億5000万円。現在、本社工場の周辺に分散する3つの分室や倉庫も新社屋

に集約し、生産効率化につなげる。

新社屋の敷地面積は1673平方メートル、延べ床面積は現行比約50%増の1484平方メートル。工場部分の延べ床面積は同約2倍に広がる。クリーンルームと同等の清浄度の部屋を設置し、顧客の高品質ニーズにこたえる。

新工場には現在所有する射出成形機12台を移設するほか、自動検査装置の導入を検討する。1階が工場と倉庫、検査室、

2階が事務所となり、3階に清浄度を高めた部屋、組み立て、検査、2次加工向けの場所や食堂を置く。屋上には売電を目的に太陽光発電パネルを設置し、非常時には社内のバックアップ電源として利用する。

同社は樹脂部品の成形が主力。移転・拡張を契機に組み立てや完成品案件も増やし、5年後の2018年3月期売上高を13年3月期見込み比40%強の10億円に拡大する。